

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	新編 新しい書写		2 東書
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上は「点画の名前」を空欄箇所を書くことで、「止め」「はね」「はらい」等の名称を覚えさせている。</li> <li>・もくじのページに、「おかしな○○」コーナーを設けており、目指すべき姿が一目でわかる。</li> <li>・点画や始筆、終筆の部分の説明がマークで示されていたり、2色の濃淡で示されている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身の思考を広げ深める工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材ごとに、話し合ったり伝え合ったりする内容がイラストを活用して明記されていて、思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。</li> <li>・学習したことを生かし、硬筆の書き込みができるようになっている。</li> <li>・クイズや問題形式の問いかけで、児童の学ぶ意欲を高めようとする工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当学年までの「書写のかぎ」が巻末にまとめて示されていることで、既習事項を振り返って確認できるように工夫されている。</li> <li>・2年生以上で「みつけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふりかえろう」「生活にひろげよう」の学習の流れを示すことで、児童に見通しをもたせ、主体的な学びを促している。</li> <li>・「ふりかえり」について、2年生は「○」をなぞる。3年生以上は、「考えた わかった 書けた」の3観点で、できたものについて、「○」を付けることで自己評価できるようになっている。</li> </ul>	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生以上の裏表紙に「文字に込めた思い」のコーナーがあり、「人文字」や「寄せ書き」等の例示で文字の世界を広げている。</li> <li>・「文字といっしょに」のコラムの中で、さまざまな文字文化に触れることができる。</li> <li>・「生活に広げよう」を通して、普段の生活や他の教科との関連を図っている。</li> <li>・二次元コードを読み込むと151のコンテンツが用意されている。</li> </ul>		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左利きの児童のための写真もあり、配慮が見られる。</li> <li>・むすびは「魚の形」「おにぎりの形」などイラストとともに書かれている。</li> <li>・「こうぞ」がキャラクターになり、注意すること、確認することを示している。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あしぺた ぴん とん さあかこう」という、姿勢の合い言葉が設定されている。</li> </ul>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	小学 書写		17 教出
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の組み立てを視覚的に理解できるよう、マスや幅の色分けをして示している。</li> <li>・3年生以上は、始筆・送筆・終筆を点画の種類や筆圧の大きさを表現している。</li> <li>・3年生以上では、試し書きから日常化までの学習プロセスが「卵～ひよこ～鳥」のイラストで明確化されており「どのように学ぶか」の見通しが持てるようになっている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身の思考を広げ深める工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生以上で「試し書き」と「まとめ書き」の時間が設定されている。また、「試し書き」と「まとめ書き」を比べて、何画目のどこがどうなったか友達と話し合うことができるよう工夫されている。</li> <li>・文字の変容を伝える学習用語「書写の言葉」を提示することで、「対話的な学び」ができるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方として、①「つかむ・考える」②「書く・たしかめる」③「ふり返る」④「生かす・広げる」の学習の進め方を2学年以上で取り組んでいる。</li> <li>・毛筆の練習の後に硬筆が入っており、日常を意識した構成になっている。</li> <li>・全学年、手紙の書き方が掲載されている。</li> <li>・「ここが大切」というイラストを用いて単元のまとめを表している。</li> <li>・「ふりかえり」について、「よくできた・できた・もう少し」を3段階（学年によって絵や記号）で自己評価できるようになっている。</li> </ul>	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇で生かす」のページが設定されており、どの場面でその学習内容を活用できるかを示している。</li> <li>・二次元コードの活用で学びの世界が広げられる工夫がある。</li> </ul>		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の裏表紙から「コアラ」のマスコットが小見出しを説明して、ページをリードしている。</li> <li>・1、2年生に「水書用紙」が収録してあり、筆使いを何度でも体感できるように設定されている。水書を硬筆に生かしたり、毛筆へつなげたりする扱いとなっている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こしぴん あしぺた ぐうひとつ」という姿勢の合言葉が示されている。</li> <li>・1、2年生では「水筆」を紹介し、3年生から始まる毛筆の助走段階としている。</li> </ul>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	書写		38 光村
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で1教材1目標とし、身に付ける力を教材名としている。その教材で扱う要素を焦点化することで、学習のねらいを明確にし、効果的に力を付けられるよう配慮されている。</li> <li>・1、3年生でスタートブックが用意され、1年生は家庭から応援メッセージをもらう欄が用意されている。</li> <li>・3年生以上は、始筆・送筆・終筆を点画の種類や筆圧の大きさとで表現している。2色の濃淡で表されている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身の思考を広げ深める工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsブック（4年生）を加え、書写の授業とSDGsのつながりについて意識させている。</li> <li>・「できているかな」「なぞとき」の問いかけがあり、児童の思考を広げる一助となっている。</li> <li>・低学年で、「なぞとき」が設置され、文字の原理原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。</li> <li>・4年生以上ではより明確に、単元名の隣に「〇〇を考えよう」と考える内容が明記されている。更にイラストや吹き出しで考える際のヒントが示されているページも多く、教えるのではなく児童に気付かせるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書写ブック」で1年生から6年生までに学んだことを日常生活に広げる視点を示している。</li> <li>・「たいせつ」で、学習のまとめを確認できるようになっている。</li> <li>・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習の進め方を3年生以上で取り組んでいる。</li> <li>・「ふりかえり」について、2年生はスマイルマークをなぞり、3年生以上は、示されたねらいを、気を付けているかチェックマークで自己評価できるようになっている。</li> </ul>	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から6年生まで裏表紙に「先生・保護者の方へ」のコーナーに書写の系統性が示され、各学年の進度が確認できる。</li> <li>・「書写広げたい」ページで、他教科との関連が図られ、「もっと知りたい」ページで、関連資料を視覚的に見ることができる。</li> <li>・二次元コードを読み込むと363のコンテンツが用意されている。</li> </ul>		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左利きの児童のための動画があり、配慮が見られる。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で「あしはぺったん せなかはぴん おなかとせなかにぐうひとつ かみをおさえてさあかこう」という、七五調のリズムで姿勢の合い言葉が設定されている。</li> <li>・書き順動画が6年生までである。</li> <li>・キャラクターが6年間を通して猫で統一されている。また、猫が書き方や筆使いを姿勢や体の動きで示している。</li> </ul>		